

第1回送配電網投資・運用効率化委員会議事要旨

1. 日 時：2023年5月31日（水）10：30～12：00
2. 委 員：一般送配電事業者（10社）の社長、送配電網協議会事務局長、
外部より招聘した学識経験者（2名）、弁護士、会計士、消費者（各1名）

3. 議 題：

- （1）送配電網投資・運用効率化委員会の設置について
- （2）一般送配電事業者における設備仕様統一の取組みについて

4. 議事概要：

（1）送配電網投資・運用効率化委員会の設置について

- ・ご意見なし

（2）一般送配電事業者における設備仕様統一の取組みについて

●有識者委員コメント

- ・設備仕様統一は非常に重要で意義がある素晴らしい取り組み。
- ・大手メーカーは全社に納入しているので仕様統一がコスト削減に繋がり、海外製品との競争力強化にも繋がると思うが、地場産業に発注しているような製品についても、仕様統一化によるメリットはあるのか。

●一般送配電事業者コメント

- ・要求仕様を統一し、有るものから選ぶことによって、設計図等を減らすことができるという点で製造原価の低減につながるし、メーカーにもメリットがある。
- ・地場企業との関係について、電柱などは輸送コストが占める部分が多いこともあるし、災害復旧のためすぐにでも調達しないといけないことを考えると、地場の企業も必要。同様に、何かがあった時にすぐに駆け付けることができる協力会社の人材の確保・育成も非常に重要と考えている。

●有識者委員コメント

- ・仕様統一について、スピード感をもって出来るところから上手くターゲットを絞って取り組んだものと理解している。
- ・レジリエンスは仕様統一することで必ず向上するので意義が大きい。
- ・コストについては、一般的には仕様統一によるスケールメリットなどコスト低減効果があると思われがちだが、複雑にいろいろな要素が絡むため必ずしも統一したから改善されるものではないという点は、国民の皆さんが理解しやすいように、丁寧な情報発信をお願いしたい。
- ・仕様統一は寿命が長いものについては効果があると思うが、これからはデジタル化など技術の進歩が速いが故に賞味期限が短い設備も仕様統一のターゲットになってくと思う。どれくらいの更新期間をもってどのように仕様統一していくか、最適化が難しいところだが、検討いただきたい。

●一般送配電事業者コメント

- ・コストについて、メーカーに聞くと、材料の仕入れはほとんど変わらず、ものの作

り方だけが変わることになるが、今持っている設備で作ることになるので、統一してもなかなかコストが変わるものではないということであった。コスト面で効果が出るかわからないが、少なくともレジリエンスでは効果が現れると思うので、引き続き仕様統一には積極的に取り組んでいきたい。

- ・デジタル化関係は、非常に難しい課題だと思っているので、委員の皆さまにご相談させていただきながら進めていきたい。

●有識者委員コメント

- ・効率化の取り組みについて優先順位をつけながらスピード感を持って真摯に対応されており、素晴らしい取り組み。
- ・平時から現場の声を吸い上げるとより創意工夫が進みやすい。今後人材確保が困難になっていく中で、パフォーマンス向上につながるような現場からのフィードバックが、定期または臨時で行われるメカニズムがあると良い。
- ・仕様統一に加えて、ものによっては広域調達や共同調達によるスケールメリットを生かした形での効率化余地が残っているのではないかと。リスク分散の観点からポートフォリオとして複数メーカーに製作してもらうことが安定に資するという点もあるし、電柱などの輸送コストが大きいものは広域調達に必ずしも適さず地元重視の方にメリットがあるということもあるが、ものによっては共同調達によって競争も働かせながらやっていくと更なる効率化が期待される余地があると思う。
- ・一般送配電事業者は従前から地域独占の業界であったので、電力会社とメーカーで閉じた世界なのかもしれないと、外部から素朴な疑問として感じている。メーカーや地元企業と共同してwin-winの関係を築くべきである一方、メーカー等への配慮が先立ってしまい効率化の阻害になっているようなことが無いのか。適切な競争が入っているのかという点も含め、効率化の余地について外部の目がもう少しあると良い。例えば、外部コンサル等の知見がヒントになることもあるし、海外の知見を導入するといったこともあるのではないかと。

●一般送配電事業者コメント

- ・今回、仕様統一することによって、現場の発注業務も変わってきており、いわゆるカタログから選ぶといった効率化がある。今後もしっかりと現場の意見を踏まえながら、仕様検討を進めていきたい。
- ・共同調達に関しては、各社第三者を入れた資材の調達委員会等を設けており、スケールメリットを活かしたり、発注方法を工夫したりと、第三者の目からご意見いただきながら、各社それぞれの資材戦略の中で工夫を行っている。
- ・具体的な検討は技術的な話になるためメーカーとの話になるが、その前の考え方などに関しては、こういった場を活用して皆さまからこういった考え方が足りないのではないかなどのご意見をいただき、今後の検討に活かしていきたい。
- ・外部コンサルに関しては、我々に知見がないので、改めてご相談させていただきたい。

●一般送配電事業者委員コメント

- ・メーカー含めて電力業界が閉じた世界になっていないかというコメントについて、メーカーもグローバルに活動しており、世界の中で売れている商品に絞るといった動きがあったり、製造拠点を外国に集約するといった動きがあったりする中で、我々としてどのように調達していくか、海外を含め安いものを買おうとしているが、一方で製品によっては、経済安全保障の観点から全て特定の国に依存して良いのか等、様々なことを考えて調達している。

- ・需給をコントロールする中央給電指令所のシステムを各社が持っているが、制度変更時のシステム更新に費用がかかったり一斉に変えられなかったりするため、全国で数か所の拠点にサーバーを集約するプロジェクトに取り掛かっている。その際には、おそらく海外での知見を持つベンダーも候補として挙がってくると思われるという点では、海外の知見も入れつつ、日本の制度に合う良いものを作っていこうとしている。

●有識者委員コメント

- ・昨今、災害が大型化しており、新しい課題として災害時の迅速な復旧対応が大変重要な問題となっている中で、仕様統一という課題は非常に重要であると思ったので是非進めていただきたい。
- ・コスト削減という目的ばかりが前面に出過ぎるのではなく、結果としてコスト削減がどの程度だったのかということが示されれば良い。目標の達成を重要視されるよりも、結果がその通りならなかった時になぜそうなったのか、その経緯や理由について説明を丁寧にしていただくことが必要であり、コスト削減結果の報告をどのようにされるのか、予め示しておいていただいた方が良い。
- ・一般送配電事業は関連する産業の裾野が広いので、どのような業界が関わっているのか、イメージで結構なので産業の全体像について、公正な競争が働くような作りになっていることを広く皆さんに見てもらえるように一枚作られておくと良い。
- ・スマートメーターについて、各社各様でいろいろなデータが今上がってきているが、これを統一することでビックデータのような形で別の社会課題の解決に使える。電力の安定的供給に対して広く一般消費者がどう協力できるのか、消費者行動の変容にも使えるのではないかと思う。

●一般送配電事業者コメント

- ・災害の激甚化について、災害対応に係る好事例を10社共有するように事例集を作り、定期的に更新している。
- ・コスト削減もできれば良いが、そうはならないこともあるので、なぜ価格低減にならなかったのか、メーカーにも聞き取りしながらしっかり説明できるように準備していきたい。
- ・公平な競争が働くような作りになっていることを示すイメージについて、どのような形でまとめたら皆さまにご理解いただけるか検討していきたい。
- ・スマートメーターについて、社会的ニーズに答えられるよう新たなスマートメーターは様々な機能強化を行っている。再エネが系統に大量に入ってきて系統運用も複雑化してきているので、自分たち自身もそのデータを活用するとともに、いろいろな事業者の方が将来データを使いたいと考えていると思うので、その辺りのニーズにもできるだけ答えられるように対応して参りたい。

●一般送配電事業者委員コメント

- ・電線の地中化について、工法の工夫によるコストダウンや景観を乱さない工夫などの好事例集を作成し一送の中で共有しながら、良いものは学んでいく取り組みを展開しているところである。

●有識者委員コメント

- ・仕様統一について、基本政策小委員会で激甚災害の文脈でお話しを伺ったのが最初であったが、それよりも前からこういった取り組みをされていることを伺い、勉強になった。
- ・これだけのものに取り組みされるとなると調達部門や現場において行動変容を求めら

れると思うが、どうやってその人達に納得してもらい行動してもらうのか。在庫を持っている分はすぐには交換できないが、速やかに取り替えていく際にどのような工夫をされたのか。これは仕様統一が必要ではないかといった目線を日常現場の中でも持って取り組むといった行動の促しを各社で行って、初めて効果を上げるという観点では、各社の取り組みを伺いたい。

●一般送配電事業者委員コメント

- ・一例として、高経年化等により、配電の地中ケーブルを更新する場合、新しい仕様のケーブルを採用することで、既設設備との仕様の違いを吸収するためのジョイントが必要となる。そこでコストアップする部分もあるが、長期的には全国的な社会コスト低減に繋がるものと考えている。変圧器や電線等の電力設備は一旦設置すると、取替まで約50年程度かかるため、ある日突然、全て新製品に変えるという訳にはいかず混在期間があることから、その時々で適応しながら進めている。

●一般送配電事業者委員コメント

- ・これから効率化を求めていく中では、地場のメーカーにも、仕様統一して良いものを作れば全国に製品が売れるというように意識を変えてもらうことが必要。
- ・社内でも担当者が判断に迷うことがあるため、経営層で会議体を作って、迷うようなことがあれば拾い上げて、何が課題か、進まないのはなぜかを聞き、30分ぐらいの短い会議で即断しながら進めている。

●有識者委員コメント

- ・これまで各社独立して技術的な検討をしてきたが、仕様統一の検討により互いの情報を共有し合う事で、副次的に技術のレベルアップに繋がるのではないか。
- ・今回、仕様統一という題目があつてのアクションだが、いろいろな枠組みの中で、各社横連携を可能な範囲で進めていただければ、良い効果がさらに広がるという印象を持ったので検討いただければと思う。

●一般送配電事業者コメント

- ・各社がなぜそのようなものを採用していたのかという知見を共有化できたり、高いスペックを採用していた会社が、それを採用しなくても設備を健全に運用することができている他社の考えを聞いたり、技術のレベルアップに貢献している。

●一般送配電事業者委員コメント

- ・仕様統一のメリットとして共同調達がある。例えばスマートメーターに関して、他社と共同調達をしており、スケールメリットによる効果が一定程度出ている。
- ・コンクリート柱は製造コスト+輸送費で決まってくるが、仕様統一により、隣エリアの近い地域に対しては、我々のエリアから輸送したほうが安価という面があり、寄与できている。

●一般送配電事業者委員コメント

- ・一般送配電事業者各社が広域連携を進めていくうえで、仕様統一は重要なテーマであり、本日ご出席の委員の方々も高い関心を持たれていることを改めて実感した。本日はいろいろなご意見をいただいたので、是非今後の我々の検討につなげて参りたい。また、その検討状況は機会を見てご説明したいと思う。
- ・次回以降は少しテーマが変わり、調整力の広域化・調達費用の適正化の取り組みの分野にもこの委員会のテーマとして広げていきたい。